

# 北國フィナンシャルホールディングス 2025年3月期 第2四半期決算の概要

Quality Company, Good Company.

ともに、未来へ。

 北國フィナンシャルホールディングス

# 目次

## エグゼクティブサマリ

### 1. 決算概要

- ・ 2025年3月期 第2四半期 決算の概要 6

### 2. 重点取組みの進捗

- ・ 重点ビジネスの進捗状況 8
- ・ 還元方針・自己株式取得状況 10
- ・ 貸出金の状況 11
- ・ 金利上昇時の影響 12
- ・ 与信コスト実績と今後の見込み 15
- ・ 有価証券運用状況と今後の投資戦略 16
- ・ 政策保有株式の状況 18
- ・ 純投資目的株式の状況 19
- ・ 投資事業の状況 20

### 3. 持株会社設立から3年～今後の事業展開～

- ・ デジタル化の進展と店舗数 22
- ・ 新高度化等会社による事業展開 23
- ・ アリーナプロジェクトの現在地 24

### 4. 参考資料

- ・ 貸出金～セグメント別残高～ 26
- ・ 能登半島地震の与信状況 27
- ・ 預金～セグメント別残高～ 28

# エグゼクティブサマリ

# エグゼクティブサマリ

|              |   |
|--------------|---|
| 重点ビジネス       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルティング、キャッシュレス事業はほぼ巡航速度へ</li> <li>・投資事業は予算実績へのインパクトやボラティリティなど課題を整理し、体制のブラッシュアップへ</li> </ul>   |
| 事業性融資        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スプレッド交渉は最終局面。短プラ連動から市場連動への移行も今期完了見込み</li> <li>・首都圏での大口先融資、一部既存融資先のシンジケーションが増加<br/>(仕組み融資&amp;投資不動産融資の消極姿勢は変更なし)</li> </ul>  |
| 能登半島地震の影響    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・与信コストは前期・今期で計上予定。復興に向けたサポートを継続。</li> </ul>  |
| 金利ある世界での市場運用 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年債（短期資金繰り、サテライト運用）2,000億円</li> <li>・満期保有中長期債購入 3,000億円</li> </ul>  |
| 持株会社移行から3年   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい枠組みは今年度で完成。来年度から実行加速フェーズへ<br/>来春4月に新ブランド戦略、更なるビジネスモデルの進化を開示</li> <li>・アーリープロジェクトの現在位置 <ul style="list-style-type: none"> <li>①公的・外部支援内容の明確化と目標</li> <li>②投資家様、サポーター様との対話による意見集約</li> </ul> </li> </ul> |

# 1. 決算概要

# 2025年3月期 第2四半期 決算の概要

## ■ 北國フィナンシャルホールディングス連結 (単位：百万円)

|       | 23年9月期 | 24年9月期 | 増減      | 増減率     |
|-------|--------|--------|---------|---------|
| 経常収益  | 48,007 | 44,884 | △ 3,123 | △ 6.5%  |
| 経常利益  | 9,862  | 8,933  | △ 929   | △ 9.4%  |
| 中間純利益 | 6,846  | 5,659  | △ 1,187 | △ 17.3% |

## ■ 北國銀行 単体 (単位：百万円)

|        | 23年9月期 | 24年9月期 | 増減      | 増減率     |
|--------|--------|--------|---------|---------|
| 経常収益   | 41,257 | 36,817 | △ 4,440 | △ 10.7% |
| 経常利益   | 9,645  | 8,218  | △ 1,427 | △ 14.7% |
| 中間純利益  | 6,940  | 5,401  | △ 1,539 | △ 22.1% |
| コア業務純益 | 2,901  | 4,730  | 1,829   | 63.0%   |

## ■ 自己資本比率

|    | 23年9月末 | 24年3月末 | 24年9月末 |
|----|--------|--------|--------|
| 連結 | 10.14% | 10.37% | 10.48% |

### ■ 総括

- ・ 北國FHD連結: 2期連続の減収減益
- ・ 北國銀行単体: 2期連続の減収減益  
コア業務純益は2期ぶりの増加

### ■ 概要

- ・ 円金利の上昇や外債売却による外貨調達コストの減少により資金利益が増加し、コア業務純益は前年同期に比べ増加。
- ・ 政策保有株式売却益の減少により、有価証券関係損益は前年同期に比べ減少。
- ・ 不良債権処理は低格付先の業況改善や借入減少による引当戻入益を計上。有価証券関係損益の減少により経常利益は前年同期に比べ減少。

## 2. 重点取組みの進捗

# 重点ビジネスの進捗状況

(億円)

| 項目                 | 2023/9 | 2024/9 | 前年比 | 計画  | 進捗率  |
|--------------------|--------|--------|-----|-----|------|
| 重点ビジネス・・・①         | 207    | 181    | ▲26 | 390 | 46%  |
| 事業性融資・リース          | 72     | 73     | 1   | 146 | 50%  |
| キャッシュレス            | 7      | 8      | 1   | 16  | 50%  |
| コンサルティング&アドバイザー    | 6      | 10     | 4   | 20  | 47%  |
| 投資助言               | 2      | 2      | —   | 5   | 35%  |
| 投資ファンド             | 1      | ▲12    | ▲13 | 28  | ▲43% |
| 市場運用               | 120    | 100    | ▲20 | 174 | 57%  |
| その他収益（消費者ローン等）・・・② | 74     | 74     | —   | 150 | 49%  |
| 与信関係費用（▲）・・・③      | 22     | ▲2     | ▲24 | 55  | ▲4%  |
| 経費（▲）・・・④          | 162    | 168    | 6   | 334 | 50%  |
| うちシステムコスト          | 34     | 39     | 3   | 75  | 52%  |
| 経常利益（①+②-③-④）      | 99     | 89     | ▲10 | 152 | 58%  |

# 重点ビジネスの進捗状況

| 項目        |   |
|-----------|---|
| 事業性融資・リース | <ul style="list-style-type: none"> <li>・残高は減少するも、利回りが改善し収益は前年同期比で161百万円の増加<br/>事業性貸出（末残）11,178億円（前年同期比 △249億円）</li> </ul>   |
| キャッシュレス   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・加盟店数、決済額ともに前年同期比で増加<br/>カード加盟店数 7,081件（前年同期末比 +429）<br/>デビット決済額 6,230百万円/月（前年同月比 +848）</li> <li>・「トチツーカー」ユーザー数は6,000人を突破</li> </ul> |
| コンサルティング  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人コンサルティングはコンサルティング件数が前年同期を上回って推移<br/>コンサルティング件数 349件（前年同期比+44）</li> </ul>  |
| 投資助言      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資助言に基づく運用残高は3,800億円（前年同期末比+300億円）</li> </ul>   |
| 投資ファンド    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年6月 投資先85件、289億円（2023年12月比+11件、+83億円）</li> </ul>  |
| 市場運用      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・円金利上昇に伴い円債を積み増し、円債残高は約9,200億円まで増加</li> <li>・外債売却を引き続き実施、外債残高は約1,300億円まで減少</li> <li>・政策保有株式売却益は13銘柄/19億円を計上</li> </ul>               |

# 還元方針・自己株式取得状況

- 総還元性向は50%以上を維持（更なるリスクテイクのための資本増強も同時に）
- 自己株式取得予定 30億円（2024年9月末までの取得額 395,300株 約20億円（66.4%））

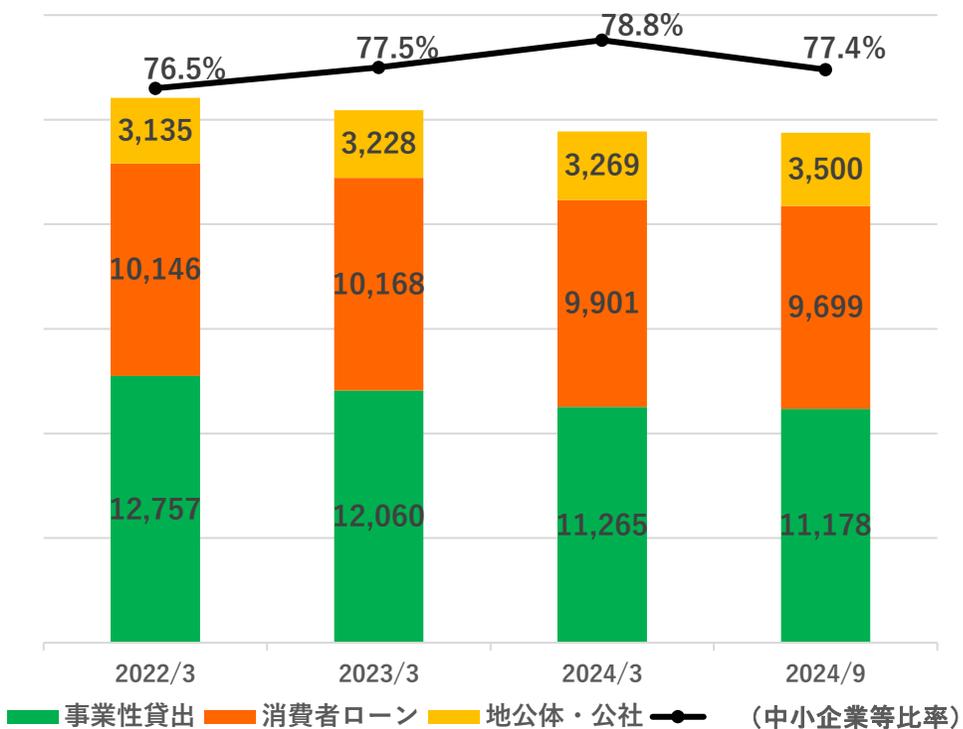
| 項目      | 2024/3期<br>実績 | 2025/3期  | 2026/3期<br>3年後  | 2028/3期<br>5年後 | 2033/3期<br>10年後 |
|---------|---------------|----------|---|----------------|-----------------|
| 総還元性向   | 138.3%        | 56.7%    | 総還元性向 50%以上<br>自己株式取得や配当の増額については、自己資本比率と戦略投資機会を踏まえ、定期的に検討・実施する。 |                |                 |
| 配当総額    | 26億円          | 27 億円    |   |                |                 |
| 自己株式取得額 | 99億円          | 30 億円    |   |                |                 |
| 資本コスト   |               |          | 6%程度（当社算出値）   |                |                 |
| ROE     | 4.1%          | 4.5%     | 5.0%以上  | 7%以上           | 8%以上            |
| コア資本    | 2,209 億       | 2,241 億  | 2,325 億   | 2,555 億        | 3,300 億         |
| リスクアセット | 21,293 億      | 21,331 億 | 23,740 億  | 25,507 億       | 30,000 億        |
| 自己資本比率  | 10.4%         | 10.5%    | 9%～10%前後  |                |                 |
| PBR     | 0.5           | 0.6以上    | 0.7以上   | 1.0以上          | 1.0以上           |

# 貸出金の状況

■ 貸出残高・利回りは概ね計画通りで推移。都市部・大企業向けの残高が増加。

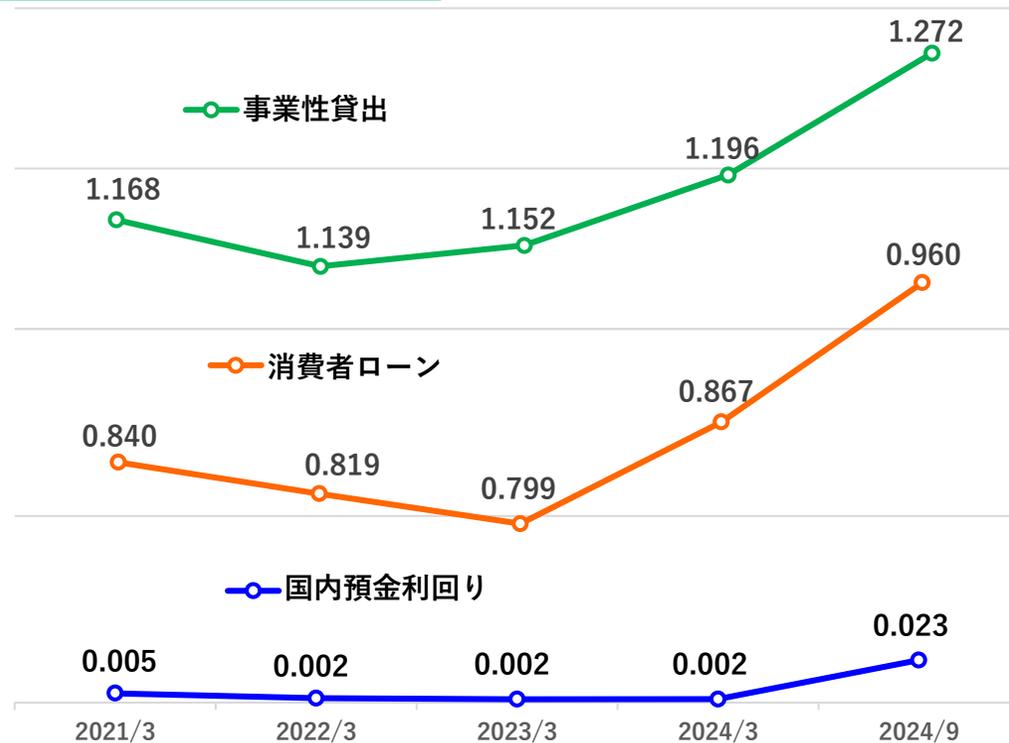
貸出金（末残）

(億円)



利回り推移

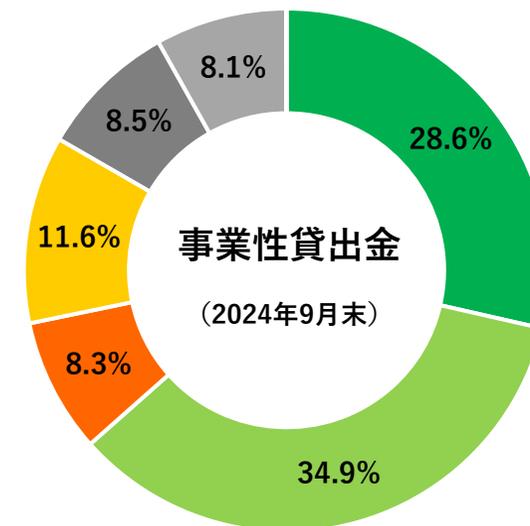
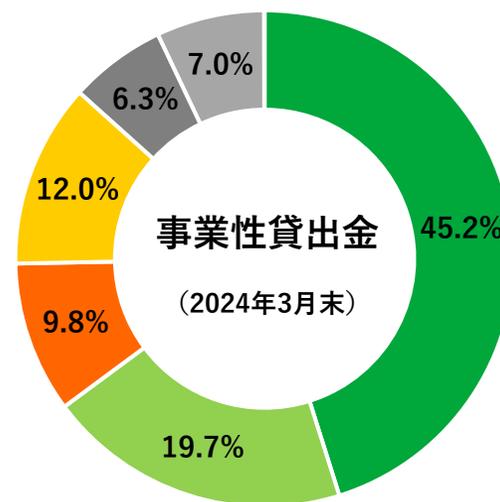
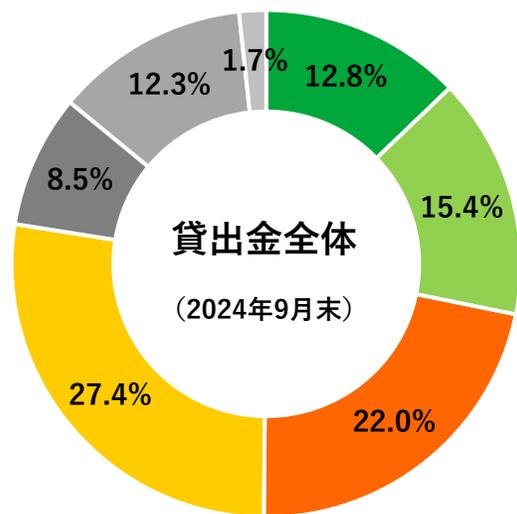
(%)



# 金利上昇時の影響①

- 事業性貸出の市場連動体系へのシフトは順調に推移
- 住宅ローンは2～3年固定が9割を占める状況。2024年10月より固定金利0.1%引上げ

## 貸出金の金利構成



- 変動金利 (短期プライム)
- 変動金利 (市場連動)
- 固定金利 (1年未満)
- 固定金利 (1年以上3年未満)
- 固定金利 (3年以上5年未満)
- 固定金利 (5年以上)

## 金利上昇時の影響②

- 2024年8月 短プラを0.15%、預金金利を0.1%利上げ
- 2024年9月 住宅ローン固定金利を各期間 0.1%利上げ

### 2025/3期までの収益影響額

(億円)

|              | 当初計画 | 着地予想 | 影響額 |
|--------------|------|------|-----|
| 貸出金収益        | 243  | 246  | +3  |
| 預金費用         | ▲7   | ▲23  | ▲16 |
| 預け金・満期保有債券収益 | 8    | 18   | +10 |
| 計            | 244  | 241  | ▲3  |

# 金利上昇時の影響③

## 2025年4月以降の収益影響額

### ■パターン① 政策金利が2025年4月に1%上昇

(億円)

|              | 1年目  | 2年目   | 3年目   |
|--------------|------|-------|-------|
| 貸出金収益        | + 94 | + 151 | + 195 |
| 預金費用         | ▲163 | ▲180  | ▲186  |
| 預け金・満期保有債券収益 | + 54 | + 64  | + 69  |
| 計            | ▲15  | + 35  | + 78  |

### ■パターン② 政策金利が2025年4月から半年ごとに0.25%ずつ上昇（トータルで1%上昇）

|              | 1年目  | 2年目   | 3年目   |
|--------------|------|-------|-------|
| 貸出金収益        | + 35 | + 100 | + 165 |
| 預金費用         | ▲75  | ▲149  | ▲182  |
| 預け金・満期保有債券収益 | + 34 | + 56  | + 69  |
| 計            | ▲6   | + 7   | + 52  |

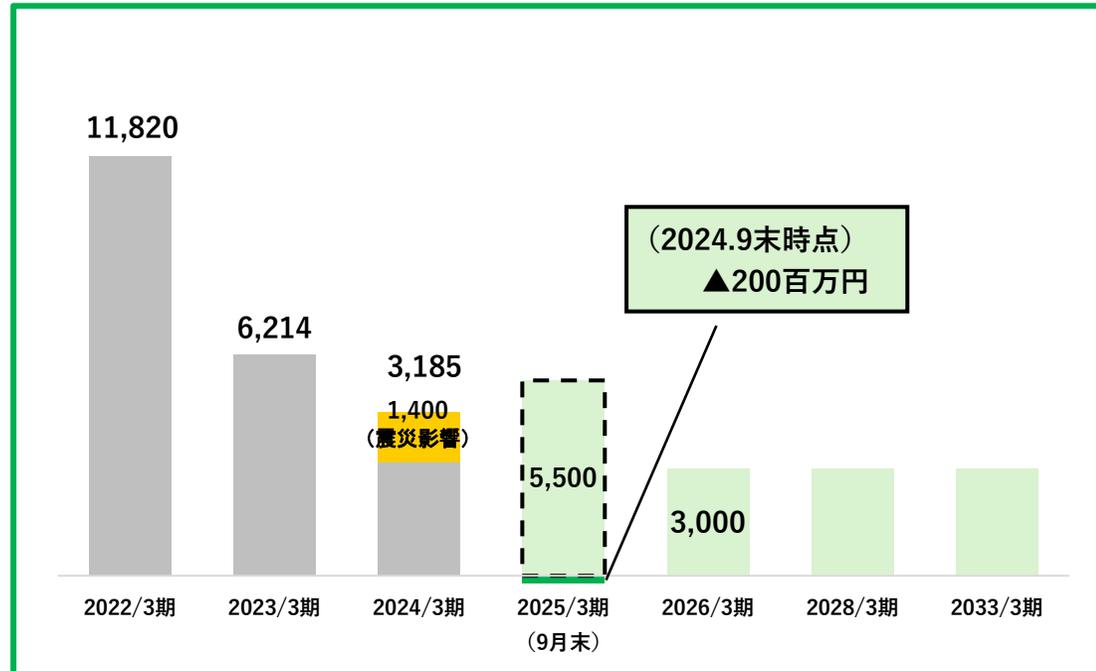
(試算条件)

- ・貸出金残高、預金残高は、2024年9月末の残高をベースに試算・貸出金金利は金利上昇幅に対して、市場連動、短プラともに100%追隨する想定
- ・預金金利は金利上昇幅に対して40%の追隨を想定（政策金利1%引上げで0.4%の預金金利上昇）

# 与信コスト実績と今後の見込み

- 上期は、低格付先の業況改善や借入減少による引当戻入益を計上。
- 下期は、能登地区で個社毎のファンド活用など復興対応の本格化が見込まれ、計画は通期予想（55億）を据え置き。

## 与信コストの推移

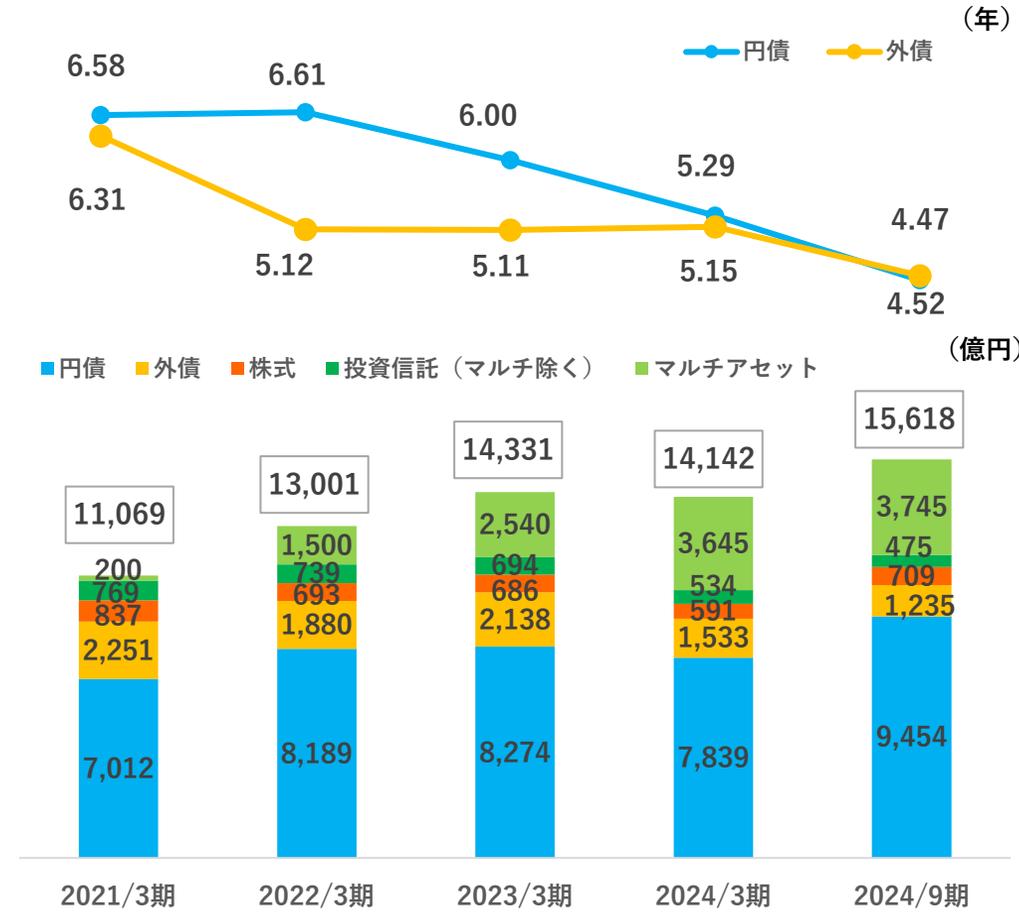


| < 保全状況 >       | 2021.3 | 2022.3 | 2023.3 | 2024.3 | 2024.9 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 金融再生法開示債権 (億円) | 561    | 608    | 758    | 734    | 681    |
| 保全額 (億円)       | 534    | 587    | 659    | 706    | 638    |
| 保全率 (%)        | 95.1   | 96.5   | 86.9   | 96.2   | 93.6   |

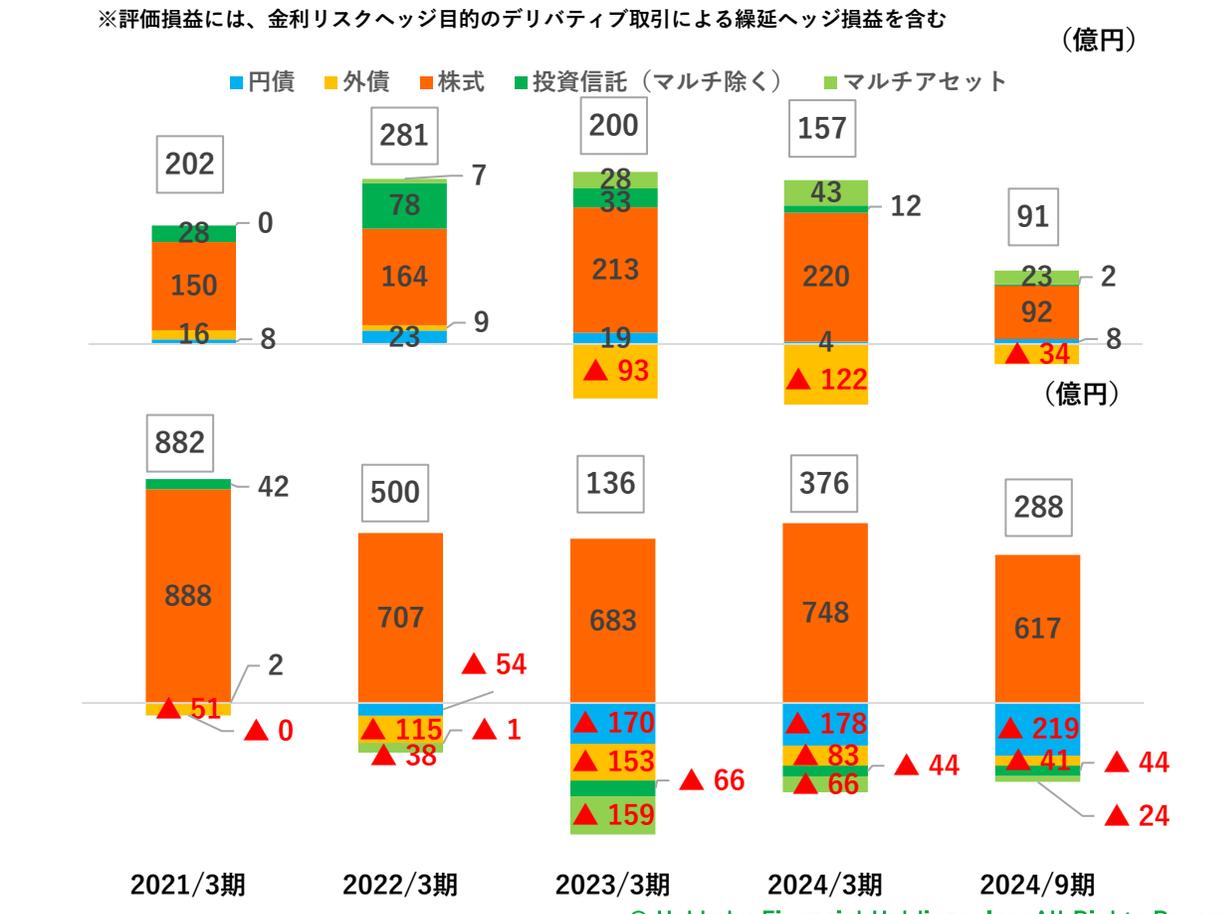
# 有価証券運用状況と今後の投資戦略①

■ 2024年度は外債の圧縮と円債運用強化で、資金利益増加とポートフォリオの改善を推進

有価証券残高（簿価）とデュレーションの推移



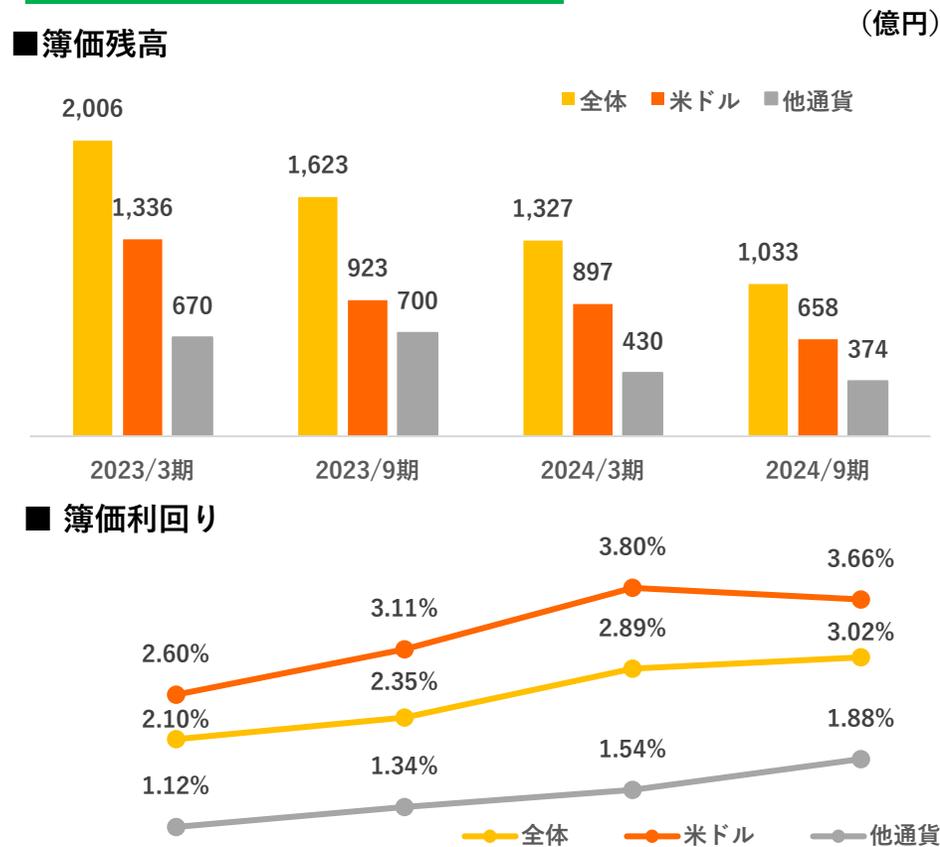
資産別実現損益（上段）と有価証券評価損益（下段）の推移



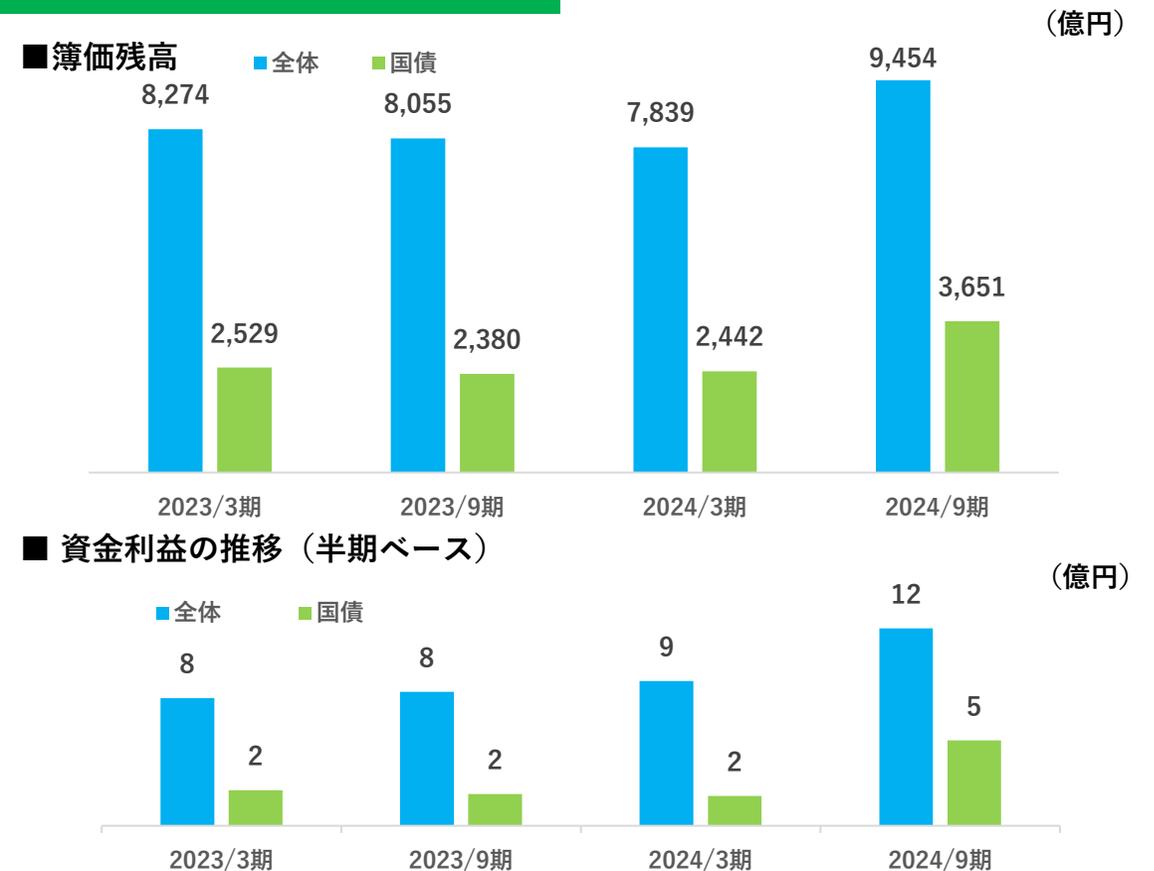
# 有価証券運用状況と今後の投資戦略②

■外債は低利回り債を売却、円債は今後の金利上昇に備え年限の短い国債で資金利益を積み上げ

## 外債投資の状況

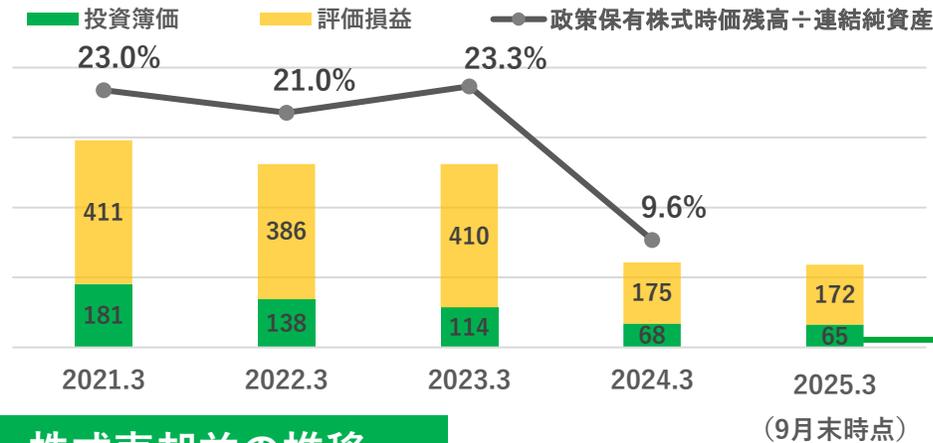


## 円債投資の状況

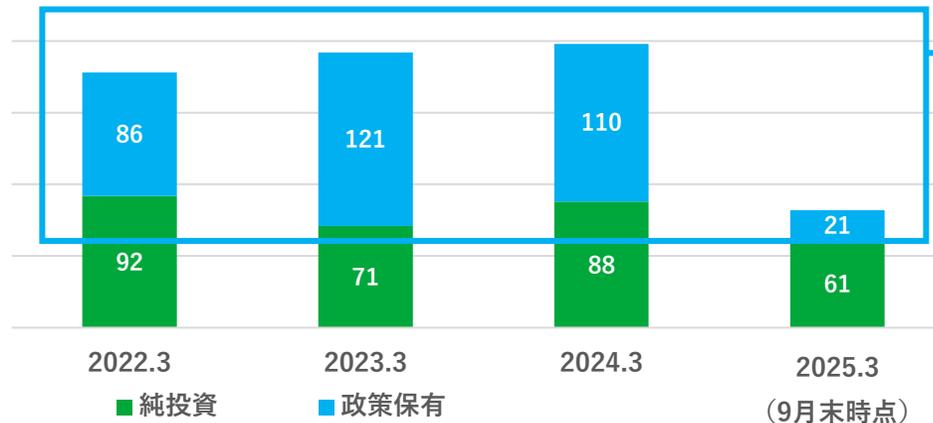


# 政策保有株式の状況

## 政策保有株式残高推移



## 株式売却益の推移



## 売却実績および削減・交渉状況

■2025/3期 売却実績  
13銘柄/売却益 21億円

■削減・交渉状況

|                | 先数 | 簿価額 (億円) |
|----------------|----|----------|
| 売却応諾           | 1  | 4        |
| 2025/3期までの売却見込 | 3  | 4        |
| 2025/4以降の売却見込  | 13 | 39       |
| 継続交渉先          | 2  | 19       |

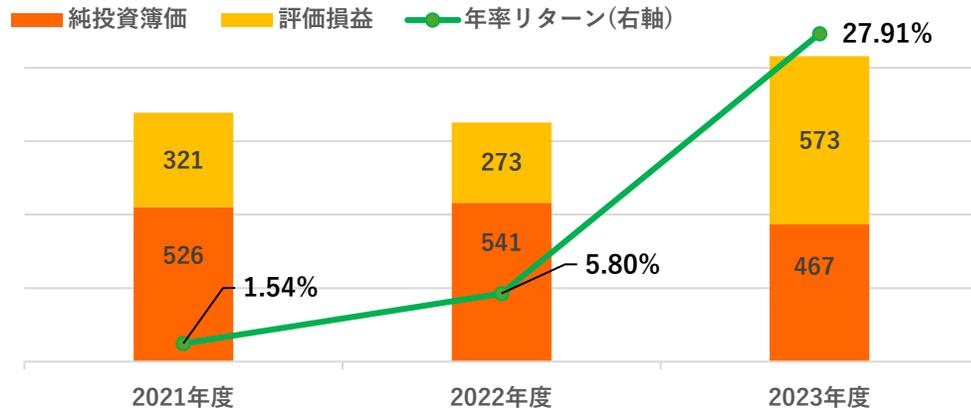
## 政策保有株式の売却益の活用 新たなビジネスモデル構築のための4つの大きな改革

- ① 事業性理解をベースとした融資体制の抜本的な再構築
- ② ゼロベースでの人事制度変革・退職金制度の完全廃止
- ③ 大胆なシステム投資によるDXとシステムの近代化
- ④ ポートフォリオ見直しなどの市場運用体制構築

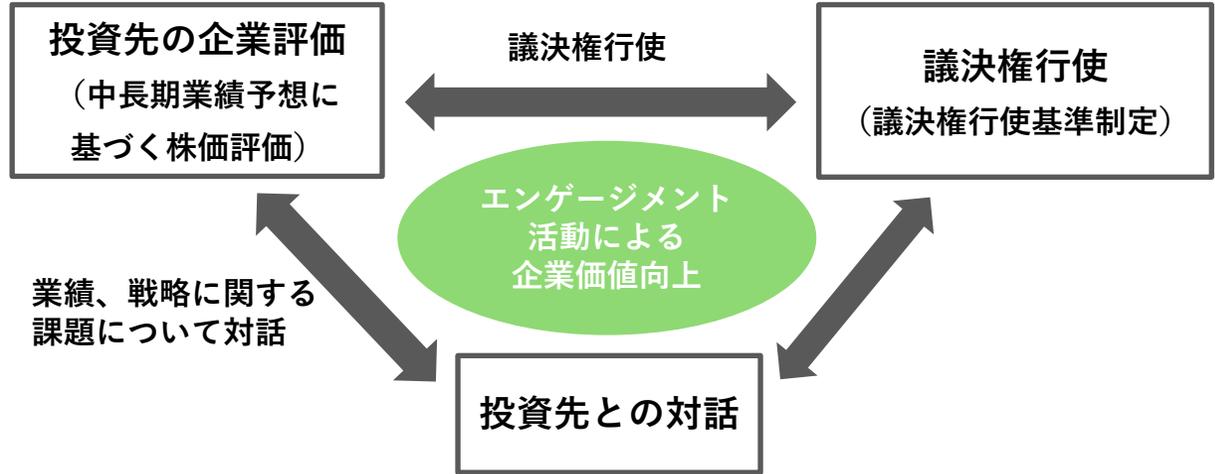
# 純投資目的株式の状況

- 政策保有株式を売却した資金は純投資目的株式へも積極投資。
- 年率リターンは改善しており、ポートフォリオの収益力向上にも貢献している。

## 純投資株式の残高推移（億円）



## エンゲージメントの取り組み



## 運用体制の高度化

専門人材

投資助言会社との合併、運用会社での株式運用経験者の中途採用など専門人材を確保

運用戦略

利益創出力が高く、中長期で高い利益成長が期待できる企業へ投資。  
リスクはTOPIX配当込み程度にコントロールし、リスク調整後リターンの向上を狙う。

投資先との対話

決算発表期の企業と目的ある建設的な対話を実施  
2023年度実績：175件

議決権行使基準

取締役選任、役員報酬、資本政策、剰余金処分、事前警告型買収防衛策等についての基準を制定

# 投資事業の状況

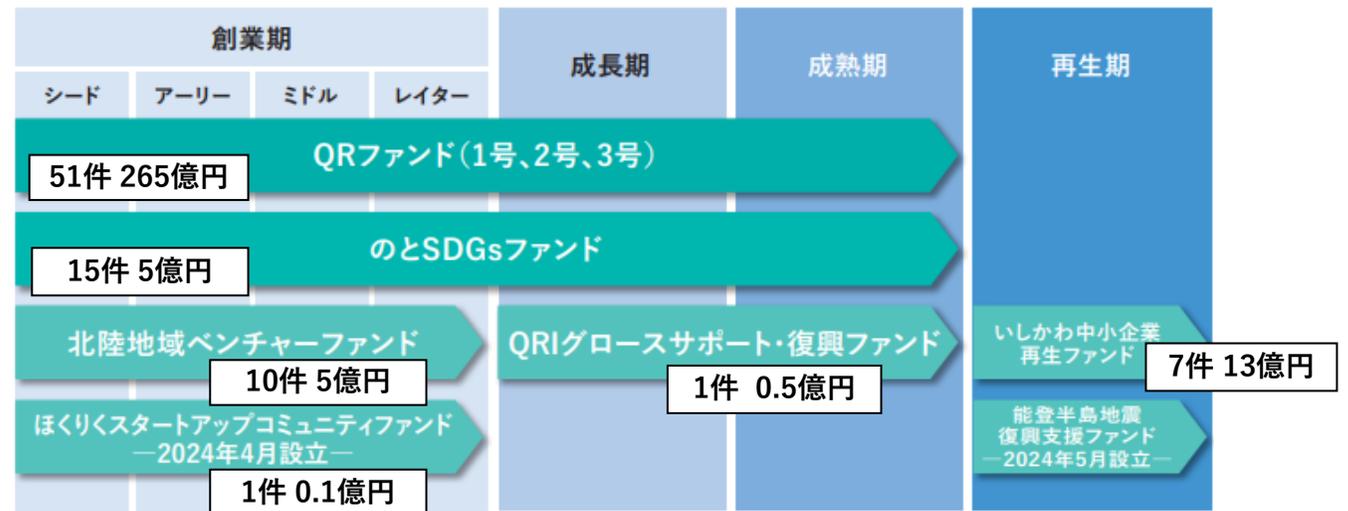
■ 7つのファンドを運営。地元を重視しつつも地域特化型ではない分散投資を実行。

## 投資実績および計画

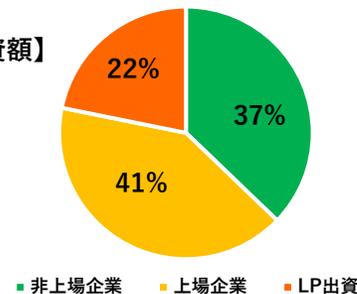
|      | (億円)         |              |
|------|--------------|--------------|
|      | 2024/6<br>実績 | 2029/3<br>計画 |
| 投資件数 | 85           | 150          |
| 投資残高 | 289          | 950          |
| 減損額  | ▲15          | ▲20          |
| 時価   | 315          | 935          |
| 投資倍率 | 1.14         | 1.20         |

- ・ QRファンドが投資したディープテック分野のスタートアップ企業（シード期）で15億円の減損を計上したが、QRファンド全体はプラスの投資倍率。
- ・ リスク管理体制を強化し、今後もリスクマネーを供給する。

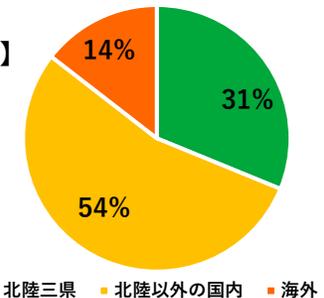
## ファンド投資状況（2024/6時点）



【カテゴリ別投資額】



【地域別投資額】



### 3. 持株会社設立から3年 ～今後の事業展開～

# デジタル化の進展と店舗数

■ デジタル化により店舗集約は最終局面 50拠点体制で店舗は相談中心拠点へ

## 個人インターネットバンキング

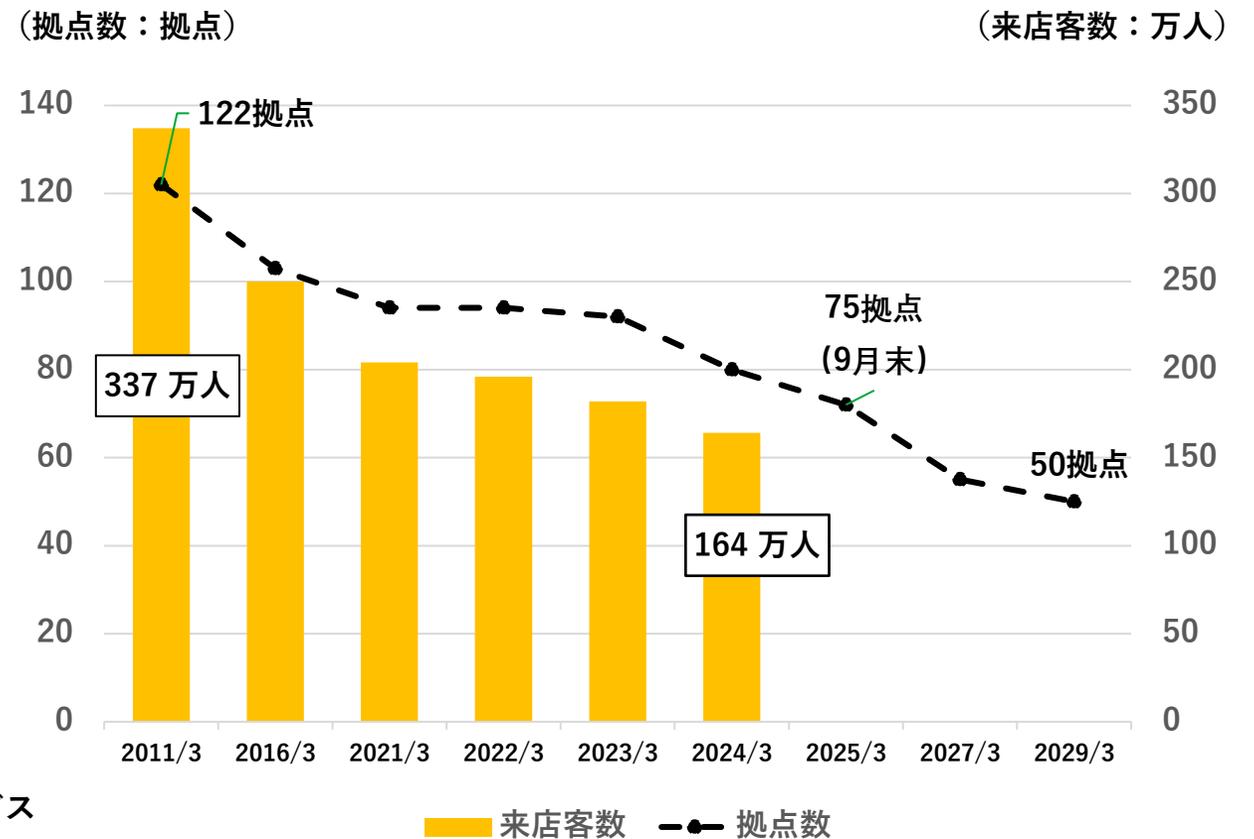
契約 32万人  
(内、給振17万人)

(主な可能取引)  
照会(取引明細)・振込・自動送金・定期預金・外貨預金  
投資信託・ローン・Pay-easy・口座振替・住所変更

## 法人インターネットバンキング

契約 3万社  
(北陸の企業数 約9万社)

(主な可能取引)  
照会(取引明細) 個別振込・総合振込 給与振込 でんさいサービス  
Pay-easy 口座振替 住所変更 当座貸越 (2025年1月予定)



## 新高度化等会社による事業展開

- CCイノベーションを総合コンサルティング会社（兼大きな高度化等会社）として事業集約・新規事業展開を図る



### 既存コンサルティング事業

### システム構築・高度IT人材育成支援、システム販売（他業種含む）

BPO事業（グループ会社BPOマネジメントを吸収合併予定）  
他業種展開・同業種システム販売（個人・法人インバン等）  
デジマコンサル（プロモーションコンサル）の顧客展開拡大  
既存コンサルティングとの事業シナジー創出

### 地域資源・地域インフラへの主体的な関与

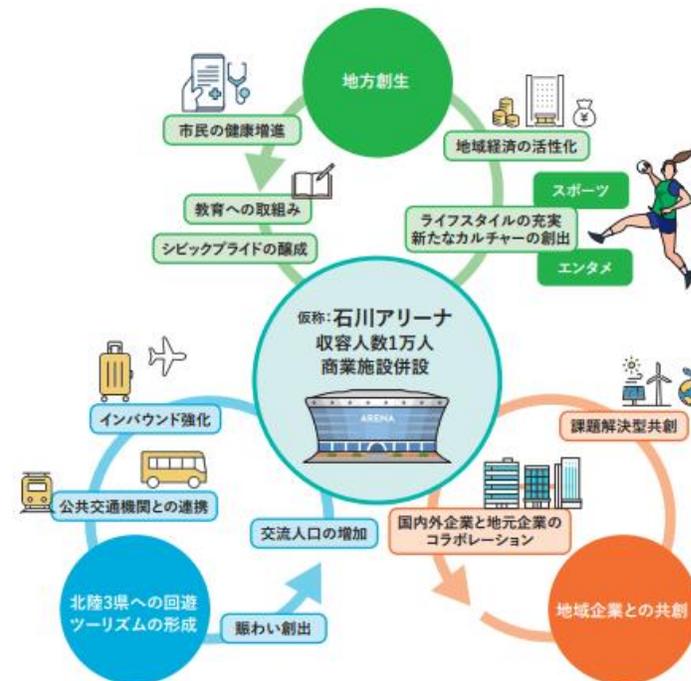
先進的・特徴的なクオリティリージョンへ向けた  
石川県のリデザイン・成長戦略サポート

# アリーナプロジェクトの現在地

■ 先進かつ特徴的な向けた石川県のリメイクプランの1つとしてプロジェクト検討中

| プロジェクト概要 |                       |
|----------|-----------------------|
| 所在地      | 石川県小松市<br>(小松空港隣接地)   |
| 敷地面積     | 55,201m <sup>2</sup>  |
| 延床面積     | 約30,000m <sup>2</sup> |
| 収容人数     | 10,000人               |
| 投資金額     | 280億円                 |

- ・ 180～240億円/年の経済効果を想定
- ・ 地域に大きな効果をもたらすプロジェクトであり、国・県・市とも連携中
- ・ 石川県の成長戦略とも連動する地域に与えるプラスの影響を創出する



## 石川県成長戦略の方針・指標 (一部抜粋)

県内総生産

観光消費額

小松空港利用者数

スポーツ施設利用者数

関係人口も含めた地域の維持発展

## 4. 参考資料

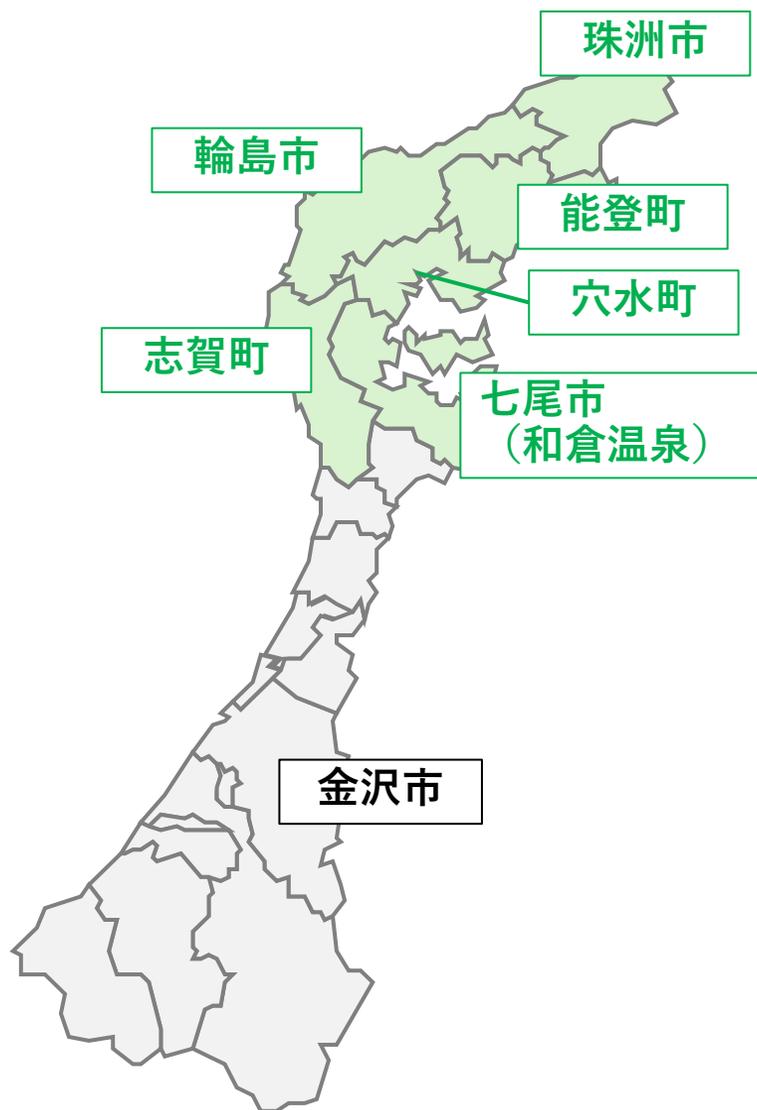
# 貸出金 ～セグメント別残高～

| 貸出金残高（属性別） |        |        |        |        |         |          |
|------------|--------|--------|--------|--------|---------|----------|
|            | (億円)   |        |        |        |         |          |
|            | 2022/3 | 2023/3 | 2024/3 | 2024/9 | 24/3比増減 | 24/3比増減率 |
| 中小企業等      | 19,931 | 19,719 | 19,267 | 18,868 | ▲399    | ▲2.0%    |
| （中小企業等比率）  | 76.5%  | 77.5%  | 78.8%  | 77.3%  | —       | ▲1.5%    |
| 中堅・大企業     | 2,973  | 2,509  | 1,899  | 2,009  | +110    | +5.7%    |
| 地公体・公社     | 3,135  | 3,228  | 3,269  | 3,500  | +231    | +1.3%    |
| 全体         | 26,039 | 25,456 | 24,436 | 24,378 | ▲58     | ▲4.0%    |

| 貸出金残高（種類別） |        |        |        |        |         |          |
|------------|--------|--------|--------|--------|---------|----------|
|            | (億円)   |        |        |        |         |          |
|            | 2022/3 | 2023/3 | 2024/3 | 2024/9 | 24/3比増減 | 24/3比増減率 |
| 事業性貸出      | 12,757 | 12,060 | 11,265 | 11,178 | ▲87     | ▲0.7%    |
| 消費者ローン     | 10,146 | 10,168 | 9,901  | 9,699  | ▲202    | ▲2.0%    |
| 内、有担保      | 9,819  | 9,867  | 9,609  | 9,413  | ▲196    | ▲2.0%    |
| 内、無担保      | 327    | 301    | 291    | 286    | ▲5      | ▲1.7%    |
| 地公体・公社     | 3,135  | 3,228  | 3,269  | 3,500  | +231    | +7.0%    |

| 貸出金残高（地域別） |        |        |        |        |         |          |
|------------|--------|--------|--------|--------|---------|----------|
|            | (億円)   |        |        |        |         |          |
|            | 2022/3 | 2023/3 | 2024/3 | 2024/9 | 24/3比増減 | 24/3比増減率 |
| 北陸3県合計     | 23,956 | 23,794 | 23,067 | 22,641 | ▲426    | ▲1.8%    |
| 内、石川県      | 18,119 | 18,139 | 17,758 | 17,550 | ▲208    | ▲1.1%    |
| 内、富山県      | 4,645  | 4,511  | 4,227  | 4,018  | ▲209    | ▲4.9%    |
| 内、福井県      | 1,190  | 1,144  | 1,081  | 1,072  | ▲9      | ▲0.8%    |
| その他        | 2,083  | 1,662  | 1,368  | 1,737  | +369    | +26.9%   |

# 能登半島地震の与信状況



・各市町の与信状況（2024年3月末時点）

|          | 事業性貸出         | 個人向けローン         |
|----------|---------------|-----------------|
| 珠洲市      | 約18億円         | 約23億円           |
| 輪島市      | 約55億円         | 約52億円           |
| 能登町      | 約44億円         | 約34億円           |
| 穴水町      | 約6億円          | 約24億円           |
| 志賀町      | 約36億円         | 約48億円           |
| 七尾市      | 約207億円        | 約180億円          |
| 計        | 818先 / 約366億円 | 6,378先 / 約361億円 |
| 全体に占める割合 | 約3%           | 約3%             |

・復興に向けた取組み

- ・相談窓口の設置、担当地区での個別相談・緊急融資対応等
- ・なりわい補助金（上限15億円）の情報提供・活用サポート
- ・「能登半島地震復興支援ファンド」による2重ローン解消支援
- ・「のとBeyond復興ファンド」による成長資金の投入

# 預金 ～セグメント別残高～

## 預金残高（属性別）

(億円)

|       | 2022/3 | 2023/3 | 2024/3 | 2024/9 | 24/3比<br>増減 | 24/3比<br>増減率 |
|-------|--------|--------|--------|--------|-------------|--------------|
| 個人    | 27,812 | 28,709 | 29,519 | 29,878 | +359        | +1.2%        |
| 法人    | 11,554 | 11,434 | 12,303 | 12,347 | +44         | +0.4%        |
| 公金・金融 | 3,360  | 3,697  | 5,293  | 4,087  | ▲1,206      | ▲22.8%       |
| 全体    | 42,727 | 43,841 | 47,116 | 46,312 | ▲804        | ▲1.7%        |

## 取組み

・当社の基盤サービスであるLIFE+、北國デジタルバンキングなどの決済サービスの充実による粘着性のある預金増強

■個人向けサービス

■法人向けインターネットバンキング



- ・提携コンビニ手数料無料 (※)
- ・他行宛振込手数料無料 (※)
- ・当行宛振込手数料無料

※月3回まで

- ・基本手数料無料
- ・当行宛振込手数料無料
- ・低価格の他行宛振込手数料
- ・24時間・365日利用可

事前に株式会社北國フィナンシャルホールディングスの許可を得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、目標対比で異なる可能性があることにご留意下さい。

本資料に関するお問い合わせ先  
株式会社北國フィナンシャルホールディングス  
経営企画部 広報 I Rグループ  
E-mail : cyosa@hokkokubank.co.jp

**Quality Company,  
Good Company.**

ともに、未来へ。

 北國フィナンシャルホールディングス

